

ひろげよう！咳エチケット

インフルエンザの感染経路は、飛沫感染と接触感染の2種類があります。

飛沫感染・感染した人が、咳をすることで飛んだウィルスを別の人が吸いこみ、ウィルスが体内に入り込むことです。



接触感染・感染した人が、手でおさえて咳をしたあとや、鼻水を手をぬぐった後に、ドアノブなどに触れると、触れた場所にウィルスが付着します。ウィルスが付着した場所を、別の人が手で触れることで、手にウィルスが付着します。その手で、口や鼻に触れることで、体内にウィルスが入り込むことです。



咳エチケットとは、咳やくしゃみが出る時に、他の人に感染させないためのエチケットです。咳エチケットを守ることで感染の広がりを、おさえることができます。



エチケット①咳、くしゃみが出る時は、マスクを着用しましょう。

エチケット②マスクがない場合は、ハンカチ等で口を覆い他の人から顔をそらせましょう。

エチケット③鼻汁や痰を含んだティッシュはすぐにゴミ箱へ捨てましょう。

エチケット④咳をしている人に、マスクの着用をお願いしましょう。

問い合わせ先：役場保健福祉課

電話 0866-82-1013

有線 9630